

2024年度 学童クラブ事業年間活動報告書

<様式11-1>

修学院学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	・1年生の学校へのお迎え、帰宅時の送り	新学期2週間、1年生の学校への迎え。
		・同じ方面へのグループでの帰宅	各コース輪番で自宅まで送る。
	健康の管理・情緒の安定	・手洗い、うがいの励行	感染症拡大予防のため正しい手洗いの仕方を指導。
		・うえぶさくらの活用	学童での様子や家庭からの相談として活用する。うえぶさくらの機能を理解し促進していく。
		・持ち物の整理整頓	個人差があり、家庭の影響も大きくその都度指導していく。
		・共有物の消毒	学童児の机、おもちゃなどの消毒の徹底。おやつ、お弁当時の机消毒には使い捨ての抗菌シートを利用した。
	社会生活技術の獲得	・縦割りグループでの当番活動	感染症拡大状況をみて当番活動を再開した。縦割りの当番によるおやつへの配膳。
			帰りの会の司会、おやつ時のあいさつ、掃除当番は年間を通じて実施。機能している。
子ども育成機能	生活体験の拡大	・所外保育	制限がなくなり、川遊び、MKボウリング、児童館学童まつり、初詣、お別れ遠足に行くことができた。1年生にとっては初めての集団でのお出かけとなったが、公共マナー交通ルールを守ることができた。
	社会性の養成	・映画会	夏休み期間、毎週一回映画鑑賞をした。
	自立の促進と自主性の尊重	・クリスマス制作、折り紙、メンコ作り	クリスマス前、紙パックを使ったハウス作りを全員で取り組む。全員で取り組むものとは別に、自由にできる折り紙やメンコを準備しておく。
		・納涼会	高学年が、夏期休業中のお昼寝時間を利用して企画から参加。駄菓子屋の装飾、店番、水遊び時の宝すくい当番を担当。企画から参加することを喜び、積極的に取り組む姿が見られた。
		・工作（ペットボトル風鈴、紙パックミラー）	家庭で出るペットボトルや紙パックを使い工作を全員で作った。
		・誕生日会	月末に毎月1回誕生日会をした。お誕生日インタビューを事前にも書いてもらい皆の前で発表した。
		・けん玉検定	毎月2回けん玉検定をして目標達成を促す。
		・避難訓練	地震や土砂災害、火事を想定した避難訓練を行った。子ども達の誘導、適切な避難ができるよう職員で情報を共有した。
子育て支援機能		・清水焼の絵付け体験	伝統工芸、蒔絵の絵付けを体験した。伝統工芸土指導のもと、配色を創意工夫し作品を完成させることができた。
	子育てに必要な情報の提供と交換	・おたよりの発行	月の予定、行事、取組の様子を知らせるものを毎月発行。その他のお知らせは随時発行。出欠確認などの返事が要るものについては子どもたちにも説明をして配布した。
		・電話、うえぶさくらの活用	個々に知らせる場合はうえぶさくら。また、文章では伝わりにくい内容や急を要する件については電話を利用した。
	子育ての仲間づくり	・お迎え時の利用	お迎えに来られる方には直接子どもの様子をお知らせしたり、情報交換をした。
		・保護者会、役員会	お迎えに来られない保護者とも情報交換できる機会であり、行事の打合せ、作業を行った。保護者同士の関係を深めることができた。
		・なかよし遊びの会	新たに迎えた1年生、保護者間の親睦も深める目的で行った。紙飛行機飛ばし、ハンターゲームなどを開催した。保護者が主体で運営、学童コーナーでは室内で工作を担当した。保護者同士の交流をより深めることができた。
	子育てを支えるネットワーク形成	・個人懇談	12月に個人懇談をし、日頃の学童での様子や家庭での様子を情報交換することができた。
		・秋まつり	1年3年の保護者が主体となり、保護者会と共催で運営。ゲームコーナー、物品販売、飲食スペースを用意しお祭り気分を味わう。学童コーナーではオセロゲーム、紙コップ工作を企画。班毎にコーナー当番を決め取り組んだ。準備する保護者に極端な負担がかからない運営可能なイベントを目指す。